

大腸・
肛門外科

肛門疾患のエキスパート 痛み・悩みをがまんしていませんか

痔には様々な症状があります。全国でも有数の痔の診療実績を持つ辻仲病院柏の葉の堤修副院長に話を聞きました。

痔は男女問わず多くの方が抱える悩みです。日常的に不便と不快感を覚えながら、場所が場所だけに見てもらおうのが恥ずかしいという思いが先に立ってなかなか来院できない潜在的な患者さんも多くいらっしゃいます。当院では、一般的な痔疾患はもちろん、難治性の肛門疾患においても多くの治療実績があります。治療は、入院手術だけでなく、薬による治療や切らずに注射で治す硬化療法（ジオン注）によるALTA療法）を取り入

れています。忙しく時間が取れない方には、日帰り手術、短期入院での治療も行っており、個々の症状や患者さんの事情に応じた最善の治療方法を選択します。当院の大腸・肛門外科医は、肛門疾患だけでなく消化器疾患全般に精通していることから、肛門疾患以外の消化器疾患、骨盤臓器脱の判別など、総合的な診断・治療を行うことができます。その診断に有効な大腸内視鏡検査においても、豊富な実績を持ち合わせています。お尻からの出血を痔によるものだと思い放置していたら癌であったケースもあるので「痔かな？」と思ったら一人で悩まずにお気軽に相談ください。



副院長／堤修 医師

辻仲病院柏の葉

☎04(7137)3737

柏市若柴178-2

柏の葉キャンパス148街区6